

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル概論・HRS基礎 I		ブライダル学科/1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	堀内 彰仁
授業の概要				
ホテル全般の仕組み・組織について学ぶ(ホテルの基礎・宿泊部門と料飲部門・ブライダル・ホテルサービス)				
授業終了時の到達目標				
ホテルにおける各セクションの役割と責任を理解する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ホテルスタッフとして6年勤務。これまでのホテルスタッフの経験を活かし、学生のロールモデルとなる		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	ホテル基礎を知る ホテル開業までのプロセス	ホテルとは? ホテル開業条件・ホテル発展の歴史・ホテル経営の形態		
2~ 3	リゾートホテルとシティホテル	リゾートホテル・シティホテルのそれぞれの特徴 各ホテルの組織・役割・呼称		
4~ 7	宿泊部門とレストラン部門	客室の種類・料金体系・フロントセクションの業務内容 料理別カテゴリー・ホテルレストラン		
8~ 9	ホテルのバー知識	バーの種類と概要 ワインの種類と分類方法、カクテル知識について		
10	企画するイベント	ホテルイベントとは何か?		
11~ 12	ブライダルと宴会	ホテルウエディング・ブライダルセールス 宴会・会議の種類・宴会予約課の業務		
13~ 14	ブライダルと宴会	宴会サービス課の概要 宴会設営		
15~ 16	良いサービスの為	ホテルに求められる安全管理		
17	コンピュータシステム	各セクションのコンピュータシステム		
18~ 20	ホテルサービス・用語	ホテルサービスとは。ホテルの将来展望		
21~ 22	組織図	ホテルの組織図 部門別の業務内容		
23~ 24	カクテル作法	カクテル実技・作成方法について		
25~ 29	期末試験対策	復習		
30	まとめ	復習・まとめ		

回	テーマ	内 容		
31	西洋料理の食材	前菜とは？ スープの分類		
32	肉の部位について	仔牛・子羊・豚の部位について		
33～ 34	パスタ・チーズ	パスタの種類 世界三大ブルーチーズ		
35	デザート	代表的なデザートを覚える		
36	スピリッツについて	コニャック・ウイスキーの種類		
37	コーヒー	コーヒーの産地 紅茶・ミネラルウォーターの種類		
38	料飲サービスに求められる資質	身だしなみ、表情、言葉遣い リネンの理解		
39～ 44	客席案内・注文受け方・食器、グラスの持ち方・下げ方（実技）	客を迎えるにあたって・料理提供姿勢・下げ方・ゲリドンサービス・ドリンクサービス		
45	復習・見直し	テキスト参考		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
現代ホテル理論		出席率 確認テスト 実習・実技評価	30.0% 40.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダル知識 I		ブライダル学科/1年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	神内朋, 藤嶋
授業の概要				
<p>ブライダルの知識を身につけ、新郎新婦に高い満足を与えられる接客ができるようになる。            ブライダルコーディネーターの仕事の実情を様々な角度から知ること、ブライダルコーディネーターの仕事内容やブライダル業界についての理解を深める。            ブライダル業界で働くために必要なコミュニケーション能力、提案力を学ぶ。            AWP検定、ASS検定対策。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブライダルコーディネーターの仕事内容や、結婚式に携わる仕事について理解する。</li> <li>2. 結婚式をプランニングするために必要なご案内方法や提案方法を学ぶ。</li> <li>3. 接客に必要なコミュニケーション能力を高める。</li> <li>4. AWP検定、ASS検定合格。</li> </ol>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		神内朋子：コスチュームアドバイザーとして3年、ブライダルプランナーとして式場で6年の経験あり。企画や、数多くの婚礼を手掛けてきた。国家検定の試験官も務めており、これまでの経験を活かし、学生のロールモデルとなること。 藤嶋愛：ブライダルプランナーとして6年間の実務経験あり。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	結婚までの流れ	結婚までの流れと携わる仕事について		
2	ブライダルコーディネーターの仕事	仕事内容・実情		
3	第1章 マーケット概論	マーケティング・ブライダル市場の現状・ブライダルの特性		
4		婚姻数・会場決定・婚礼施設の分類と特徴		
5	ブライダル市場	課題の発表(式場・衣裳調べ)をして、ブライダル市場を知る。		
6	結婚式のトレンド	現在のトレンド 情報を得る手段・ソース		
7	第2章 日本のブライダルの基礎知識	挙式スタイル		
8	挙式スタイルの違い	キリスト教挙式・人前式の違い お客様へのご案内方法		
9	6月以降	6月以降検討中		
10	グループワーク	アンケート		
11~12		新規接客 ロープレ		
13	打ち合わせ業務	打ち合わせ内容 手順		
14	検定対策	検定対策		

回	テ ー マ	内 容		
15～ 17	AWP検定対策	検定問題プリント		
18	過去問	2016年過去問 2017年過去問		
19	小テスト	2018年過去問		
20	AWP検定	検定		
21	ABC検定対策	2017年過去問		
22～ 24		論文対策		
25		2016年過去問		
26		2018年過去問		
27	小テスト	2016～2019年過去問から		
28		論文試験		
29		試験前復習		
30		筆記試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ウェディングプランナー資格2級 公式テキスト THE BIBLE OF WEDDING		課題・レポート 確認テスト 実習・実技評価 検定取得	20.0% 40.0% 20.0% 20.0%	【事前準備】 授業の復習を必ず 行っておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダル知識Ⅱ		ブライダル学科/1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	神内 朋子
授業の概要				
ブライダルコーディネーターとして必要な知識を、実践的な能力で学ぶ。 ブライダルの企画提案に必要な要素と、コミュニケーション力をあげるためのテクニックを学ぶ。 ヒアリング、プランニング、プレゼンテーションをロープレで身に付ける。				
授業終了時の到達目標				
1. ブライダルの企画提案に必要な要素とコミュニケーション、ホスピタリティを理解する。 2. ブライダルビジネスにおけるヒアリングテクニックを身に付ける。 3. 新規プランニングと成約後プランニングが出来るようになる。 4. プレゼンテーション力をアップする。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	コスチュームアドバイザーとして3年、ブライダルプランナーとして式場で6年の経験あり。企画や、数多くの婚礼を手掛けてきた。これまでの経験を活かし、学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
日頃からどんな場面でも気配り、心配りを行うこと。				
回	テーマ	内容		
1	ブライダルコーディネーター業務	企画提案に必要な要素 ブライダルセールス クロージングと成約		
2	ブライダルビジネスにおけるヒアリング	ヒアリングの基本テクニック		
3	6月以降	内容検討中		
4		新規ヒアリング 来館時ヒアリング		
5		アンケート		
6		アンケートに基づく確認 競合会社の聞き取り		
7		内覧時ヒアリング 新規アフターフォロー		
8~ 9	成約後ヒアリング	ヒアリングシート コンセプトシート		
10~ 11	ロープレ	ヒアリングロープレ		
12	遠隔授業	ジュエリー知識		
13~ 14	業界研究	インターンシップ先、県外研修先の研究		
15	発表	コンセプトシートの発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ブライダルコーディネーターテキスト エキスパート		出席率 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 30.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダル知識Ⅲ		ブライダル学科/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	35回	4単位(70時間)	必須	神内 朋子
授業の概要				
<p>ブライダルの知識を身につけ、新郎新婦に高い満足を与えられる接客ができるようになる。            ブライダルコーディネーターの仕事の実情を様々な角度から知ること、ブライダルコーディネーターの仕事内容やブライダル業界についての理解を深める。            ブライダル業界で働くために必要なコミュニケーション能力、提案力を学ぶ。            AWP検定、ABC検定対策。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>ブライダルコーディネーターの仕事内容や、結婚式に携わる仕事について理解する。</li> <li>結婚式をプランニングするために必要なご案内方法や提案方法を学ぶ。</li> <li>接客に必要なコミュニケーション能力を高める。</li> <li>AWP検定、ABC検定合格。</li> </ol>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		コスチュームアドバイザーとして3年、ブライダルプランナーとして式場で6年の経験あり。企画や、数多くの婚礼を手掛けてきた。これまでの経験を活かし、学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	第3章 料理・飲物とテーブルプラン	I 婚礼料理 II 飲料 III テーブルプラン		
2	第4章 付帯収入商品の知識Ⅰ	IV テーブルコーディネート I ペーパーアイテム		
3		II 引出物 III 演出		
4	第5章 付帯収入商品の基礎Ⅱ	I 衣裳 II 装花 III 写真・映像		
5	第6章 販売促進 第7章 テーブルマナー	III 見積書 I II テーブルマナー		
6	婚約・結納	婚約・結納のプランニング		
7	新規接客業務	会場決定までのプロセス 新規接客		
8	ヒューマンスキル	仮予約から申し込みまでの手続き コミュニケーション		
9		アイスブレイク クロージング		
10	グループワーク	アンケート		
11~ 12		新規接客 ロープレ		
13	打合せ業務	打ち合わせ内容 手順		
14	検定対策	検定対策		

回	テ ー マ	内 容		
15～ 17	AWP検定対策	検定プリント		
18	過去問	2016年過去問		
19		2017年過去問		
20		2018年過去問		
21		小テスト		
22	検定	AWP検定		
23	ABC検定対策	2017年過去問		
24		2018年過去問		
25～ 27		論文対策		
28		2019年過去問		
29		小テスト		
30	検定	ASS検定（論文）		
31	復習	復習		
32	検定	ASS検定（筆記）		
33～ 34	グループワーク	コーディネート		
35		発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率	10.0%	
		確認テスト	40.0%	
		実習・実技評価	30.0%	
		検定取得	20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダルプランニング I		ブライダル学科/1年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	40回	2単位(80時間)	必須	神内朋, 堀内
授業の概要				
ブライダルコーディネーター、衣裳コーディネーターなどの仕事を疑似体験し、ブライダルに関わる仕事を理解する。また、グループで協力し、各個人が達成感を得られるようにする。				
授業終了時の到達目標				
1. 協力し、意見交換をおこなえる。 2. 各担当の仕事を責任もっておこなえる。 3. ブライダルショーの成功				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	ブライダルショーについて	1) 動機づけ・ブライダルショーの概要説明 2) 役割発表とグループ分け		
2	ブライダルショー企画準備	3) グループごとに企画の話し合い 4) 企画書作成準備		
3	ブライダルショー企画準備	5) 企画書作成 6) 会場への質問事項		
4	ブライダルショー会場見学	会場見学		
5	ブライダルショー企画作成	7) 企画完成		
6	ブライダルショー準備	8) 準備計画、予算立て		
7	ブライダルショー準備	9) 担当ごとに買い出し		
8~ 26	ブライダルショー準備	10) 担当ごとに準備		
27~ 31	リハーサル	30) テクノホールでリハーサル		
32	リハーサル	35) 会場でリハーサル		
33	作成物	36) 準備物再調整		
34~ 36	リハーサル	37) テクノホールでリハーサル		
37~ 38	会場リハーサル	会場でリハーサル		



回	テーマ	内 容		
39～ 40	ブライダルショー本番	本番		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価	40.0% 60.0%	【準備学習】 次の回の作業がす ぐに出来るよう、 買い出しなどを分 担して行ったお く。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
着付基礎		ブライダル学科/1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	笠無 里奈
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・着物の基礎知識を学ぶ</li> <li>・浴衣, 訪問着の着付と基本的な帯結びを習得する</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・着物の基礎知識を学ぶ</li> <li>・自らで簡単な着物の着付、帯結びをする。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として20年の勤務経験。これまでの美容実績を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	着物の基礎知識	着付に必要な小物類、肌着類を知る。		
2~4	浴衣の知識	浴衣の小物類、使い方を知る。 浴衣の畳み方。		浴
5~7	浴衣を着せる	相モデルで浴衣を着る。		
8~10	帯結び	帯結び。(蝶結び、文庫結びやアレンジなど)		
11~14	浴衣を着る	自ら浴衣を着る。		
15	期末試験	浴衣着付けの実技審査		
16~18	訪問着の基礎知識	着付に必要な小物類、肌着類を知る。 物の畳み方。		着
19~20	補正を作る	タオル補正を知る。		
21~23	長襦袢を着る	肌着、補正をして長襦袢を着る。 合わせ、衣紋抜きを学ぶ。		衿
24~26	着物を着る	着物の裾丈、巻き具合、コーリンベルト、こしひもの使い方を学ぶ。おはしおりの作り方を知る。		
27~28	帯を結ぶ	手先き、垂れ先、巻き方を知る。		二重太鼓
29	期末試験	訪問着を自ら着る。		

回	テ ー マ	内 容		
30	前期授業の復習	復習と片付け		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価 期末試験	20.0% 40.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダルヘアメイク基礎		ブライダル学科/1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	辻田 乃里香
授業の概要				
ブライダルシーンにおける基本のメイキャップの習得やアレンジの仕方を身につける				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベース作りでの色合わせやトラブルのカバーが出来る</li> <li>・顔立ちに合わせたポイントメイクが出来る</li> <li>・グラデーションが美しく出来る</li> <li>・それぞれのタイプに合わせたブロッキングが出来る</li> <li>・それぞれのタイプに合わせたヘアアレンジが出来る</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として21年の勤務経験。これまでの美容実績を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	自己紹介、メイク道具の説明、下地ファンデーションの塗り方	トラブルのカバーリングやコントロールカラー塗布のポイント		
2	実演。トータルを見る。	生徒のモデルになってもらい、実際にドレスを着てのヘアメイク。トータル実演		
3	メイクのポイント	ベースメイクのやり方。リキッドファンデーションの塗布、ハイライト、ローライトの入れ方。		
4	メイクのポイント。ブルー系メイク	アイブローの種類とグラデーションのポイント(3パターン) ブルー系アイシャドウを使ってのメイク		
5	メイクのポイント アイシャドウ ベージュ+リップピンク 似合わせメイク	顔立ちと作りたいイメージに合わせた眉メイク ピンク+ベージュの色を使ってのメイク		
6	メイクのポイント アイシャドウグリーン+リップピンク メイク	アイラインの種類と使い方(3パターン) リキッドアイライナー、ペンシルアイライナー、ジェルアイライナー。アイシャドウグリーン+リップピンクの似合わせメイク		
7	メイクのポイント 自分達で考える	オシャレをしてのお出かけ時のヘアメイクを自分で考える		
8	メイクのポイント イチゴ色	トータルを考えての、色を使ってのメイク		
9	メイクのポイント チョコレート色	トータルを考えての、色を使ってのメイク		
10	メイクのポイント 今どきメイク 赤リップ	ベース→眉→アイメイク→チークの順でのメイク。 ツヤ肌+赤リップ		
11	メイクのポイント オレンジ系メイク	基本のリップメイクの種類と印象。 オレンジアイシャドウを使う		

回	テーマ	内 容		
12	トータルヘアメイク	メイク+ヘア 自分なりに髪型も考えてやってみる		
13	期末試験練習	試験の練習 ブルー系メイク		
14	期末試験	前回練習したメイクを。 自分似合うメイク。		
15	自分に似合うヘアメイク。 道具の取り入れ。	ヘアメイクトータルで、自分似合うように。 メイク道具のお手入れ。		
16	道具と使用方法	道具の使用方法和名前		
17	ブロッキングの仕方	ブロッキングの基礎		
18	巻き方	ホットカーラー、コテ、アイロンの使い方		
19	土台の作り方	丸ゴムを使用したパターンと未使用のパターン		
20	毛タボの作り方	人参型、楕円型		
21	スライスと逆手の立て方	逆毛のポイント		
22	ダウンスタイル	ダウンスタイルtの基本		
23		ダウンスタイルの習得		
24	ハーフアップスタイル	ハーフアップの基礎		
25		ハーフアップの習得		
26	夜会巻き	夜会巻きの習得		
27		夜会巻きベースのヘアアレンジ		
28	ヘアアレンジ	ダウンスタイルベースのヘアアレンジ		
29	ヘアアレンジ	ハーフアップスタイルベースのヘアアレンジ		
30	期末試験	実技試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
「パーフェクトメイク&ヘアーバイブル」 「MICHIKO FUJIWARA パーフェクトメイク &ヘアーバイブル/盛り髪ヘアカタログ」		出席率 実技評価 実技試験	10.0% 40.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
マナープロトコール		ブライダル学科/1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	神内 朋子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナー、エチケット、礼儀、作法の違いを理解する</li> <li>・プロトコールとは何かを理解する</li> <li>・冠、婚、葬、祭のしきたりを知る</li> <li>・国際人としてのプロトコールを理解する</li> <li>・検定問題になれ、合格を目指す</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビジネスマナーの必要性を知り、実践ができるようになる</li> <li>2. 人と人との関わりはもちろん、国家間のマナーやエチケットを知ること、他社への配慮ができるようになる</li> <li>3. マナープロトコール検定3級取得</li> </ol>				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	好印象を与えるコミュニケーション マナープロトコール検定の概要	第一印象の重要性・聴き方 →挨拶、お辞儀、表情、自己紹介の実践		
2	マナーやプロジェクトとは何か 国際人としてのプロトコール マナーの歴史と意味	マナ・エチケット・礼儀・作法の違い 社交の場、国旗の扱い 日本の礼儀、作法の成り立ち、西洋のマナー、エチケット、プロトコールの原則		
3	社会人に必要なマナー	異文化コミュニケーション 身だしなみと立ち居振る舞い、丁寧な言葉遣い、話し方→実践		
4	ビジネスシーンのマナー	礼装の基準、喜ばれる贈答、名刺、電話対応、手紙のマナー、会社の仕組み、プロ意識、報連相		
5	ビジネス文書	来客対応、ビジネス文書の基本マナー、電子メールのマナー 正式な手紙を書いてみる 小テスト		
6	食事のマナー	和食のマナー、和室の作法		
7		西洋料理のマナー		
8		各国料理のマナー お酒の基礎知識とマナー		
9	通過儀礼とは何か	グループディスカッション 日本の主な通過儀礼		
10		婚のしきたり		
11		葬のしきたり・祭のしきたり		
12	まとめ	模擬問題と解説		

回	テ ー マ	内 容		
13		模擬問題と解説 2		
14	小テスト	マナープロトコール検定復習		
15	中テスト	マナープロトコール検定復習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
マナー&プロトコールの基礎知識 検定問題集		出席率 確認テスト 実習・実技評価 検定	10.0% 40.0% 30.0% 20.0%	【準備学習】 先週の授業の復習 を教科書を見てお こなしておくこ と。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
パソコン演習基礎		ブライダル学科/1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	35回	2単位(70時間)	必須	馬場 隆信
授業の概要				
パソコンの基本的な操作を学ぶ 実務でWord・Excelのソフトが使えるように基本的な操作を学ぶ ムービーメーカーを使用して、動画編集に取り組む				
授業終了時の到達目標				
Wordを使ってビジネス文書が作成できる Excelを使って表計算・グラフが作成できる Wordを使用してチラシが作成できる ローマ字入力がスムーズにできる マルチメディア関連の技術を身につける				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	パソコンの基本操作	Windowsとは パソコンの基本操作 データの保存等		
2	インターネットの基本操作	インターネットを利用した検索 インターネットを利用した入力練習		
3	Word2016	学習ファイルのダウンロード Wordの概要 Wordの画面構成		
4	Word2016	文書の作成 練習問題 タイピング練習		
5	Word2016	グラフィック機能 練習問題 タイピング練習		
6	Word2016	表のある文書の作成 練習問題 タイピング練習		
7	総合問題	総合問題1~3		
8	ブライダルショー	Wordを利用してブライダルショーのチラシ作成・印刷		
9	ブライダルショー	Wordを利用してブライダルショーのチラシ作成・印刷		
10	ブライダルショー	Wordを利用してブライダルショーのチラシ作成・印刷		
11	Excel2016	Excelの概要 データの入力 練習問題 タイピング練習		
12	Excel2016	表の作成 練習問題 タイピング練習		
13	Excel2016	グラフの作成 練習問題 タイピング練習		
14	Excel2016	データの分析 練習問題 タイピング練習		



回	テーマ	内 容		
15	Word2016・Excel2016	アプリ間でのデータの共有 練習問題 タイピング練習		
16	総合問題	総合問題4~7		
17~ 20	課題作成	実務に即した課題の作成 タイピング練習・試験		
21~ 22	第1章 動画制作の準備を整えよう	各種ソフトのインストール、映像、音楽素材の準備		
23	第2章 動画の素材を取り込もう	PCに各種素材を取り込む		
24~ 26	第3章 ビデオクリップを編集しよう	ストーリーボードの見方、ビデオの複製、分割、カット等の編集操作		
27~ 29	第4章 動画に演出を加えよう	切替効果、静止画挿入、各種効果、テロップ編集		
30~ 32	第5章 音楽・音声を組み合わせよう	オーディオ挿入、音楽編集、BGM効果等		
33	第6章 写真と音楽でスライドショーを作ってみよう	実技演習		
34~ 35	第7章 完成した動画を出力しよう	各種ファイルへの書き出し、試写会		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<前期>よくわかる Microsoft Word2016 & Excel2016 <後期>今すぐ使えるかんたん ビデオ編集ムービーメーカー対応版]		出席率 課題・レポート タイピング試験	30.0% 50.0% 20.0%	【準備学習】 キーボードに慣れるため、タイピング練習

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネスマナー		ブライダル学科/1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	25回	3単位(50時間)	必須	堀内・神内
授業の概要				
ビジネスマナーの基本やルールを学び、マナーやルールの重要性、コミュニケーションやチームワークの大切さを理解し、好ましい人間関係づくりや就職後の業務に役立てる				
授業終了時の到達目標				
社会人常識やマナーの基礎を習得する ビジネス実務マナー検定3級取得  ビジネス文書検定3級取得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ホテルスタッフとして6年勤務。ホテルスタッフの経験を活かし学生のロールモデルとなる		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	ビジネス実務マナー検定について	シラバス説明 検定説明・「審査基準」について		
3~ 4	I 必要とされる資質	ビジネスマンとしての資質 執務要件		
5~ 6	II 企業実務	組織の機能		
7~ 9	III 対人関係	人間関係・マナー 話し方・交際業務		
10~ 11	IV 技能	情報・文書・会議・事務関係		
12~ 15	試験対策	答練		
16	ビジネス文書 第I章：表記技能	ビジネス文書とは 総合・用字・用語		
17		復習 問題		
18	第II章：表現技能	用語・書式 正確な文章・わかりやすい文章		
19		礼儀正しい文章 問題		
20	確認テスト	第I章・第II章確認テスト		
21~ 22	第III章：実務技能	社内文書・社外文書 問題		
23		文書の取り扱い 問題・過去問		

回	テ ー マ	内 容		
24～ 25	答練	過去問		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス実務マナー検定3級 受験ガイド		出席率	20.0%	
ビジネス実務マナー検定3級 実問題集		確認テスト	40.0%	
ビジネス文書検定3級 受験ガイド		実習・実技評価	20.0%	
ビジネス文書検定3級 実問題集		検定取得	20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
テーブルコーディネート		ブライダル学科/1年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	西山 実枝子
授業の概要				
アイテム制作の基礎から応用を学ぶ。工具の使い方・資材の特徴を学びDIYができるようになる。 【実務経験】西山 実枝子：フラワーアイテムコーディネーターとして19年の勤務経験。これまでの実務経験を活かし、知識・実技を伝えている。				
授業終了時の到達目標				
作りたいアイテムの作り方がわかるようになる。→アイデアの引き出しが増える。→アイテムの提案が出来るようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	フラワーアイテムコーディネーターとして20年の勤務経験。自身のお店を持ち、ブライダルアイテムなどのワークショップや講座を開き実務を重ねている。経験を活かし、学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	自己紹介	自己紹介アンケートを記入し、コミュニケーションをとりながら発表をする。		
2	アイテム制作	グルーガンの使い方①プチギフト制作。ラッピングの基本①。		
3		グルーガンの使い方②ギフトアイテム制作。ラッピング基本②。		
4		洋アイテム制作1		
5		洋アイテム制作2		
6		洋アイテム制作3		
7		和アイテム制作1		
8		和アイテム制作2		
9		和アイテム制作3		
10~11		ウエディングアイテム制作。アクセサリール具の使い方。基本のアクセサリール①		
12		ウエディングアイテム制作。基本のアクセサリール②		
13	課題	課題制作①		

回	テ ー マ	内 容		
14～ 15		課題制作②		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題提出 課題	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダルコスチュームⅠ		ブライダル学科/1年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	福山 実希
授業の概要				
スタイリストとしての洋装・和装の知識を深め・実践的な技術を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
婚礼衣装の知識を深め、衣装フィッティング・トータルコーディネートの実案ができるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		衣裳店で6年間の実務経験があり、現在もお店の中心スタイリストとして活躍している。経験を活かし、学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	スタイリストとは	スタイリストとは・婚礼衣装の種類を知る		
2	ドレスについて	ドレスのデザイン・フィッティング時の小物を学ぶ		
3	ドレスについて	前回復習の小テスト・教室にあるドレスを選びライン・デザイン・生地を発表		
4	タキシードについて	新郎衣裳のデザイン・小物を知る		
5	フィッティング(実務)	ドレスのフィッティング練習(ペア)		
6	フィッティング(実務)	タキシードのフィッティング練習(ペア)		
7	和装について	和装の種類・柄の意味・小物を知る		
8	フィッティング(実務)	色打掛のフィッティング練習(ペア)		
9	フィッティング(実務)	色打掛のフィッティング練習(ペア)		
10	グループワーク	グループになり、1枚の用紙に提案したいドレスデザイン(ウェディングドレス・カラードレス 2枚)をまとめる。雑誌を切り抜き、色見・ライン・デザイン・アクセサリまで。		
11	グループワーク			
12	衣裳店見学			
13	衣裳店見学			
14	グループワーク(発表)	ドレスデザインの発表		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験（実務）	フィッティングの実務試験・実際に衣裳店を見ての感想文提出		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	日本のドレスコーディネーター 育成プログラム	出席率 実務 グループワーク 期末試験	10.0% 40.0% 40.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダルコスチュームⅡ		ブライダル学科/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	神内 朋子
授業の概要				
<p>婚礼衣装業界にかかわるプロとして知っておきたい洋装、和装の専門知識、貸衣装店に携わるために必要な実践的技術を学ぶ。また、ドレスコーディネーターと関連深い美容、花の基礎知識を学び、トータルコーディネートもできるようになる。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>衣裳やそれに関する小物を理解し、衣裳コーディネーターの仕事について知る。 衣裳の扱い方から、フィッティングの仕方を実践をしながら身につける。 ドレスコーディネーター検定の取得。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<p>コスチュームアドバイザーとして3年、ブライダルプランナーとして式場で6年の経験あり。企画や、数多くの婚礼を手掛けてきた。これまでの経験を活かし、学生のロールモデルとなること</p>		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	婚礼衣装業界とは	婚礼衣装業界についてと、ドレスコーディネーターの必要性を学ぶ、どんな衣装店があるかを知る		
3	グループワーク(発表)	ドレスデザインの発表		
4	期末試験(実務)	フィッティングの実務試験・実際に衣装店を見ての感想文提出		
5	新婦の衣裳	ドレスのデザインディテール 素材と装飾		
6		サイズ 小物、ブーケ		
7		和装の歴史 衣裳の種類と各部位の名称		
8	新郎衣裳	小物 洋装の歴史と種類		
9		サイズ 持ち物		
10		和装 紋		
11	列席者の衣裳	留袖、モーニング 試着		
12	ドレスコーディネーターの業務	貸衣装店 セルドレスショップ、オーダードレスショップ		
13	貸衣装店におけるドレスコーディネーターの実務	カウンセリング、衣裳選択 フィッティング技術		
14	トータルコーディネート お直し・メンテナンス	アイロン、裁縫		



回	テ ー マ	内 容		
15	商品管理 搬入・搬出 必要書類の作成	搬入・搬出の流れ 報告書・台帳・納品書等		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本のドレスコーディネーター 育成プログラム		出席率 授業態度 実習・実技評価 期末試験	10.0% 20.0% 40.0% 30.0%	【準備学習】 授業の復習を行うこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		ブライダル学科/1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	神内 朋子

## 授業の概要

- ・自分自身の再発見
- ・社会人としての心がまえを身に付け、卒業後、社会に出てからの意識を高め
- ・インターンシップの準備
- ・就職活動に必要な知識、技術、マナーを理解する
- ・面接についてロープレ形式で行い、流れとともに動きを理解する
- ・社会情勢に敏感になれるよう、地方新聞やブライダル産業新聞の見方と業界への影響を考える

## 授業終了時の到達目標

1. 自分自身について考えることで、新しい考えや解決策を見出せる力をつける
2. 基礎学力、専門知識を将来社会において発揮できることのできるための汎用的能力の育成
3. 目標を設定し管理をすることによって、自己成長を実感させ、将来設計ができるようになる
4. 履歴書作成、面接練習をし、就職活動の準備をおこなう
5. 新聞を読み、社会情勢と企業との関係を考える力をつける

実務経験有無

実務経験内容

## 時間外に必要な学修

常に新聞を読んだり、社会情勢に気を配っておくこと。

回	テーマ	内容
1	自分探し	自問自答で見つける「自分」
2	コンピテンシー	身近にいるいいシゴトをする人って？ 自分の強みを見つけよう！
3		キャリアビジョンを描こう！
4	自己PR	自己PRを書いてみよう
5	接遇用語と敬語、マナー	接遇用語と正しい敬語 ビジネスマナー
6	企業研究	式場見学に行く式場の企業研究
7~ 8	インターンシップ準備	心得 履歴書準備
9	会社訪問	会社訪問
10		会社訪問
11		会社訪問
12		インターンシップ先企業研究
13		履歴書下書き

回	テ ー マ	内 容		
14~ 15	コンピテンシー	メンバーの強みを引き出そう！魅力を伝えよう！		
16~ 17	インターンシップ準備	履歴書完成、事前打ち合わせと質問事項の再確認		
18	インターンシップの振り返り	学んだことと反省点など お礼状作成		
19	就職のココロ構え 就職の手引き	就職活動について 手順や書類の書き方		
20	企業研究	企業研究・リクナビ、マイナビ登録（ネットの活用法）		
21	自己分析	自己PR		
22~ 23	志望動機	志望動機の作成		
24~ 25	履歴書作成	履歴書下書き		
26~ 28	面接練習	25問25答		
29	就職研修準備	電話応対、会社訪問の練習		
30	就職研修準備	面接練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率	20.0%	
		課題・提出物	40.0%	
		実習・実技評価	40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
インターンシップ		ブライダル学科/1年	2020/後期	外部実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	50回	3単位(100時間)	必須	神内 朋子

## 授業の概要

体験を通して学ぶという考え方に立脚した、実際の中で身体や感覚を使って、実感を伴いながら知識・技術の修得、確認、応用、体験から理論へのフィードバックを目指す。  
ブライダルスタッフとしての総合的な能力を養う。学校で学んだ学習(理論)を基礎としてブライダルスタッフに必要な知識・行動・倫理(マナー)を統合し、お客様に応じた接客を実践・行動することを目的としている。

## 授業終了時の到達目標

1. ブライダルスタッフとしての清潔感のある身だしなみを整え、実習に臨むことができる。
2. おもてなしの心を持ち、接客の基本である用語や態度・マナーで対応できる。
3. 清掃、お客様ご案内業務や、お茶出し、資料整理などを通して基本の仕事内容を理解する。
4. 社会人としての仕事への積極性、責任感を強める。
5. 婚礼の仕事の基礎を理解する。仕事の流れを把握したうえで、臨機応変な接客を判断でき、適切な対応を行う。

## 実務経験有無

## 実務経験内容

## 時間外に必要な学修

実習に行く前に実習の手引きと、企業情報を熟読すること

回	テーマ	内容
1	インターンシップ前授業	実習心得 実習先面談について
2	インターンシップ先面談準備	面談練習
3~ 4	面談	面談
5	インターンシップ事前準備	面談にいて スケジュールと目標
6~ 9	インターンシップ1日目(見学・1日の流れ)	内容については実習先による
10~ 13	インターンシップ2日目(掃除、準備、事務作業、片付け)	
14~ 17	インターンシップ3日目(スタッフとお客様との接客を見学)	
18~ 20	インターンシップ4日目(スタッフの仕事の補佐)	
21~ 24	インターンシップ5日目(スタッフの仕事の補佐)	
25~ 28	インターンシップ6日目(お客様との関わり)	
29~ 31	インターンシップ7日目(お客様との関わり)	
32~ 34	インターンシップ1日目(見学・1日の流れ)	内容は実習先による
35~ 37	インターンシップ2日目(掃除、準備、事務作業、片付け)	

回	テ ー マ	内 容		
38~ 39	インターンシップ3日目（スタッフ とお客様との接客を見学）			
40~ 41	インターンシップ4日目（スタッフ の仕事の補佐）			
42~ 44	インターンシップ5日目（スタッフの 仕事の補佐）			
45~ 47	インターンシップ6日目（お客様と の関わり）			
48~ 50	インターンシップ7日目（お客様と の関わり）			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 課題・レポート 実習・実技評価	30.0% 40.0% 30.0%	